

令和8年9月9日

市貝町長 軽部 修 様

市貝町子ども・子育て会議
会長 小花 唯男
(日本地域福祉研究所理事)

市貝町内保育施設のあり方及び放課後児童クラブの利用料見直しについて(答申)

市貝町子ども・子育て会議は、本町における少子化の進行、保育需要の変化、町立認定こども園の今後のあり方及び放課後児童クラブ利用料の見直しについて協議を重ねてきました。

本町においては、今後、就学前児童数の大幅な減少が見込まれており、現行の保育提供体制を将来にわたりそのまま維持することは困難になると考えられます。一方で、町立認定こども園には、医療的ケア児や障害のある児童、その他配慮を必要とする児童への対応、地域子育て支援など、公立施設として重要な役割が求められています。

また、保護者アンケートや会議における意見からは、施設そのものの存続だけでなく、必要な保育サービスや支援機能を将来にわたり確保することを重視する考えが示されています。

放課後児童クラブの利用料については、長年にわたり近隣自治体とも比較して低水準の利用料で設定されてきました。保護者アンケートでは、利用料の引上げに対しては慎重な意見が多い一方で、放課後児童クラブは保護者の就労を支える重要な社会基盤として認識されており、事業そのものの持続可能な運営を望む意見も多数見られました。

以上を踏まえ、慎重に審議を重ねた結果市貝町子ども・子育て会議として、町に対し、下記のとおり答申します。

記

1 町立認定こども園の今後のあり方について

町立認定こども園については、本町における少子化及び児童数の減少を踏まえると、現在の施設規模及び運営体制を将来にわたって維持することは難しいと考えます。

ただし、施設の見直しは直ちに閉園するものではなく、在園児については卒園まで現在の保育環境を継続し、年度途中を含め、町の方針変更によって転園を求めないことを基本としてください。

また、園児数や保育需要の推移、町内民間保育施設の受入状況等を毎年度検証しながら、段階的に施設規模を縮小し、将来的には閉園を含めた最終的な保育提供体制へ移行することが望ましいと思料します。

町として最終的な閉園時期を決定する際には、単に園児数の減少のみで判断するのではなく、子どもの最善の利益、保護者への影響、町内の保育提供体制及び必要な支援機能の確保状況を総合的に勘案してください。

2 医療的ケア児及び配慮を必要とする児童への対応について

町立認定こども園の規模縮小及び将来的な閉園を進めるに当たっては、医療的ケア児、障害のある児童及びその他特別な配慮を必要とする児童の受入先及び支援体制を明確にすることを前提とすべきです。

現在、町立認定こども園が担っている役割のうち、民間保育施設のみでは対応が困難な支援については、町が責任を持って代替機能を確保する必要があります。

そのため、町においては、下記の事項を進め、必要な支援体制を具体的に示してください。

1 町内民間保育施設との受入体制の協議・調整

- 2 医療的ケア児等の受入に必要な人材及び設備の確保
- 3 児童発達支援事業所、医療機関等の関係機関との連携
- 4 町単独での対応が困難な場合における近隣自治体との広域連携の検討

特に、医療的ケア児等の受入先が明確にならないまま施設の見直しのみを先行させることのないよう、十分な検証を求めます。

3 公立施設が担ってきた機能の継承について

町立認定こども園の規模を縮小し、将来的に閉園する場合であっても、公立施設がこれまで担ってきた次の機能については、町の子育て支援施策として継続又は代替手段を確保してください。

- ・医療的ケア児への対応
- ・障害のある児童及び配慮を必要とする児童への支援
- ・地域子育て支援
- ・関係機関との連携・調整
- ・災害時等における子育て支援機能

保護者アンケートにおいても、公立施設にはこれらの専門的・公益的な役割を期待する意見が多く示されています。したがって、「園を閉園すること」で「必要な機能をなくすこと」とならないよう、必要な支援機能を町として維持することを求めます。

4 保護者への対応について

保育施設のあり方を大きく見直すことは、現在利用している保護者のみならず、今後保育施設を利用する子育て世帯にも大きな影響を与えます。

このため、町においては、一方的に方針を説明するだけではなく、保護者と直接意見交換を行う機会を設け、双方向の対話を通じて理解を得ながら進めることを求めます。

特に、

- ・方針決定に至った経緯
- ・少子化及び保育需要の見通し
- ・新規募集の制限内容
- ・在園児への対応
- ・将来的な閉園までの考え方
- ・医療的ケア児等への対応
- ・民間保育施設を含めた今後の保育提供体制

について、具体的かつ分かりやすく説明してください。

また、保護者説明会に加え、必要に応じて個別相談の機会を設け、それぞれの家庭の状況に応じた支援を行うことを求めます。

5 放課後児童クラブ利用料の見直しについて

放課後児童クラブについては、人件費や物価の上昇等による運営経費の増加を踏まえると、利用料の見直しは必要であると考えます。

本町の利用料は近隣自治体と比較して低い水準にあることから、事業を将来にわたり安定的に継続し、指導員の確保や保育環境の維持・充実を図るため、利用料については一定の引上げを行うことが適当であると考えます。

ただし、利用料の改定に当たっては、保護者への急激な負担増とならないよう、段階的な引上げを基本とし、具体的な改定額や時期については、利用者負担と町の公費負担のバランスを考慮して決定することを求めます。

- ・多子世帯への配慮
- ・低所得世帯への配慮
- ・必要に応じた公的補助
- ・保護者への十分な周知期間の確保

についても十分に検討してください。

利用料の見直しは、受託事業者が持続可能な運営を継続し、放課後児童クラブを必要とする児童が将来にわたり安定して利用できる環境を維持するための取組として進めるべきであり、今後も物価や賃金の変動に応じて随時見直すべきと考えます。

(具体的な見直しの例)

	現行	改定案
通常月	5,250 円	7,500 円 (利用料 5,500 円+諸費 (おやつ代等) 2,000 円)
7 月	7,000 円	10,000 円 (利用料 8,000 円+諸費 (おやつ代等) 2,000 円)
8 月	12,000 円	15,000 円 (利用料 13,000 円+諸費 (おやつ代等) 2,000 円)

案1 : 令和9年度より改定案のとおり見直す

案2 : 改定案の増加分を半額ずつ、令和9年度、令和10年度の2か年計画で改定する (令和9年度は増額の不足分を町が各クラブに補填)

案3 : アンケートの結果を踏まえて、利用料は現行通りとし、諸費 (おやつ代) 2,000 円のみ増額とする

6 今後の町の対応について

町においては、本答申を踏まえ、少子化及び保育需要の減少という現実を踏まえながら、町立認定こども園のあり方の決定をされることが適当と考えます。

その際には、以下の事項を確実に実施することをご配慮ください。

- 1 在園児が卒園するまで安心して保育を受けられる環境を確保すること。
- 2 医療的ケア児及び配慮を必要とする児童の受入・支援体制を明確にすること。
- 3 民間保育施設、医療機関及び関係機関との連携体制を整備すること。
- 4 保護者との双方向の対話を実施すること。
- 5 保育需要及び園児数を毎年度検証し、必要に応じて方針を見直すこと。
- 6 放課後児童クラブについては、事業の持続可能性と利用者負担への配慮を両立させること。

結び

本町の子ども・子育て支援において最も重要なことは、施設を維持すること自体ではなく、子どもが安心して成長できる環境と、必要な保育・子育て支援を将来にわたり確保することです。

町においては、本答申の趣旨を十分に踏まえ、子どもの最善の利益を最優先とし、保護者及び関係機関との理解と協力を得ながら、持続可能な子育て支援体制の構築を進められるよう求めます。

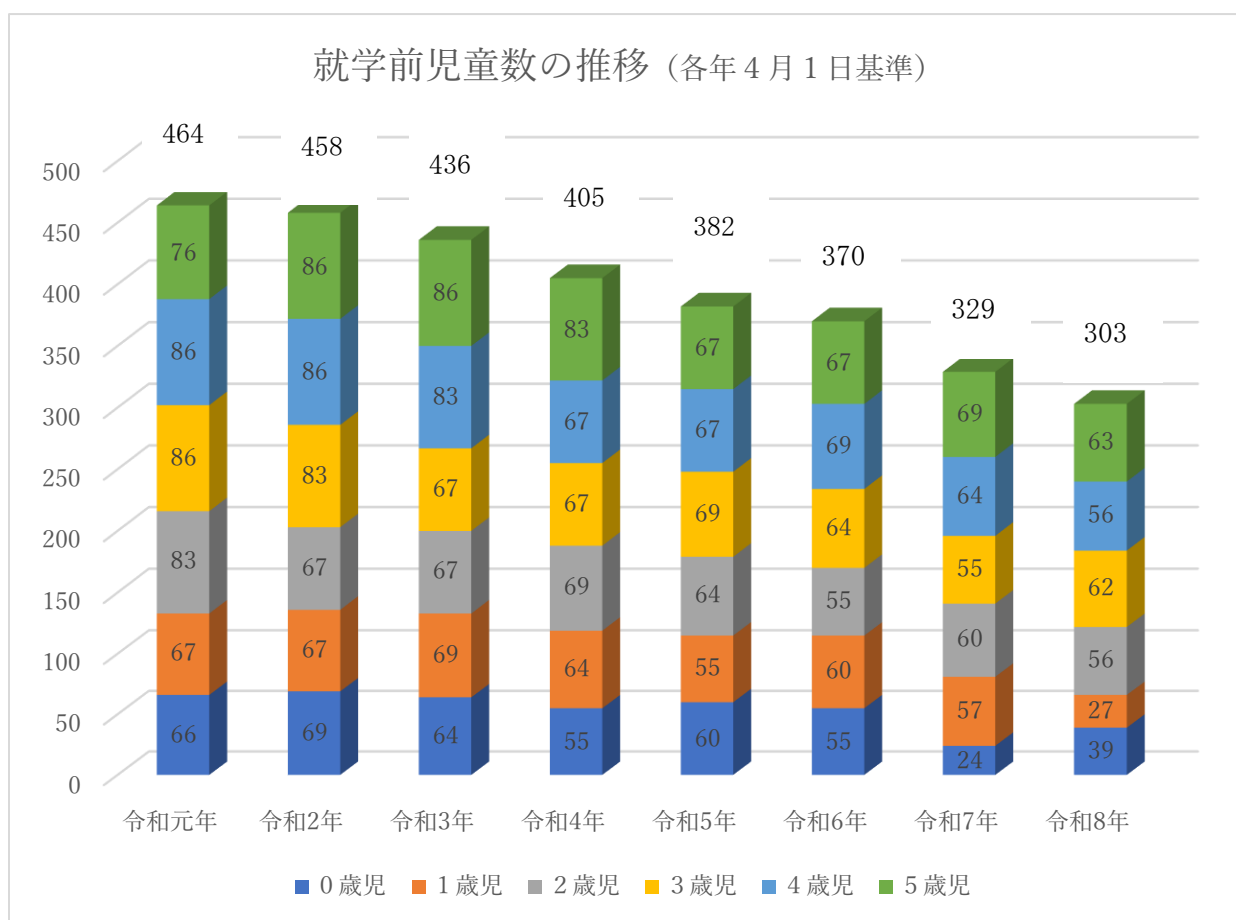
以上、答申します。

1. 市貝町における少子化と人口減少の進行

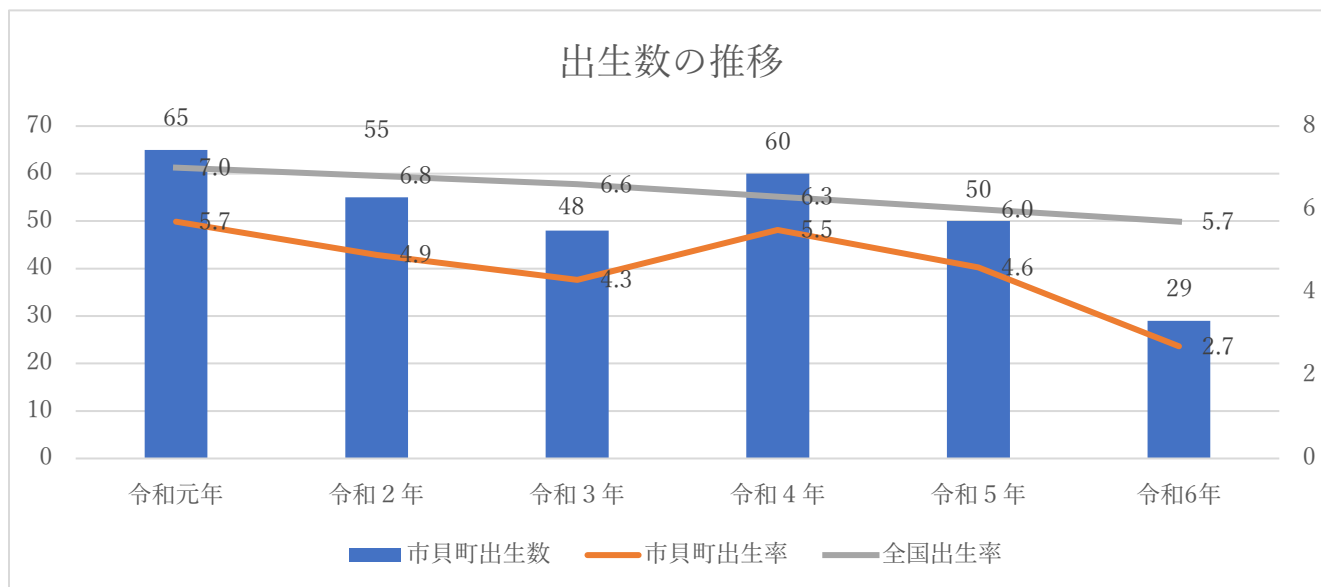
全国的な少子化の進行に加え、本町においても出生数の減少や人口減少が続いています。今後も年少人口の減少が見込まれることから、保育施設の利用児童数も中長期的には減少することが予測されます。

保育施設は、将来の保育需要を見据えた適正な規模で運営していくことが求められており、現状の体制を維持することが将来的に最適とは限りません。

- 年少人口（0～5 歳）の推移【資料：栃木県毎月人口調査】



- 出生数の推移【資料：栃木県保健統計年報】



・ 将来人口推計【資料：第 3 期市貝町子ども・子育て支援事業計画】

[illegible]

2.保育施設の利用状況

令和8年 4 月時点の町の認可保育施設を利用している児童は 231 人、広域入所制度を利用し、町外の認可保育施設を利用している児童は 12 人となっています。

認可保育施設の利用児童数の内訳は町立市塙認定こども園が 37 人(15.22%)、私立保育園が19人(7.8%)、私立認定こども園が175人(72.02%)、町外の認可保育施設が12人(4.9%)となっています。

町内の認可保育施設の定員に対する利用充足率は下記のとおりです。

特に「市塙認定こども園」の充足率が 46.25%という状況になっており、充足率の低下が著しい状況になっております。「すぎやまてらす保育園」を除く他の私立園も約 65%~90%の充足率となっておりますが、町外からの広域入所の受け入れ児童に依るところが大きいのが現状です。

〈町内保育施設の定員と入所状況

〉R8.4.1 現在

施設名	公・私	定員	児童数			充足率		
			町内	町外	合計	町内	町外	合計
市塙認定こども園	公	80	37	0	37	46.25%	0.00%	46.25%
すぎやまてらす保育園	私	20	19	3	22	95.00%	15.00%	110.00%
認定こども園市貝たいよう幼稚園	私	120	75	31	106	62.50%	25.83%	88.33%
赤羽認定こども園	私	98	55	12	67	56.12%	12.24%	68.36%
かみねの森認定こども園	私	75	45	13	58	60.00%	17.33%	77.33%

3.町内保育施設のあり方検討に係るアンケート調査結果

○アンケート調査の実施方法

1) 調査の対象及び回答状況

市貝町に住所を有し、市貝町内の保育施設を利用している児童の保護者

調査対象者数 192 名 回答者数 83 名 回答率 43.23%

2) 調査の方法及び調査期間

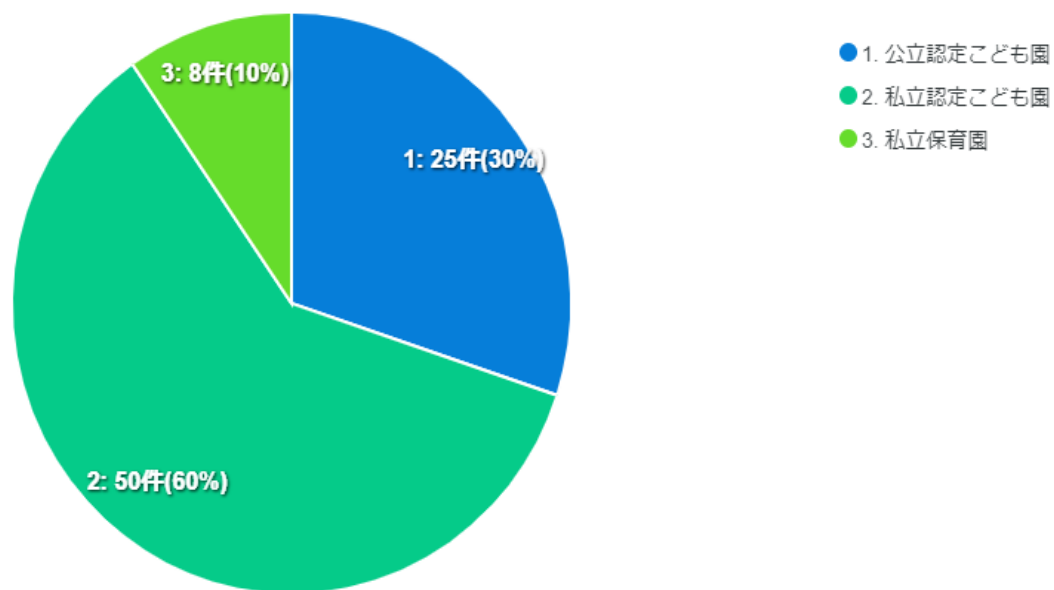
調査方法:オンライン

調査期間:令和 8 年 7 月 10 日~令和 8 年 7 月 24 日

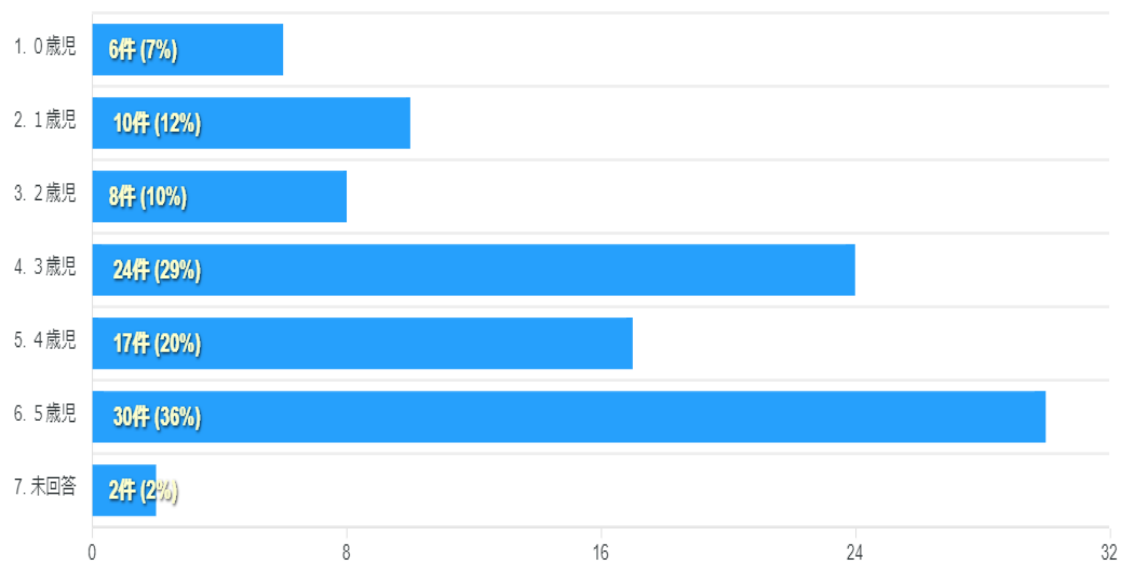
○アンケート調査結果

I 回答者について

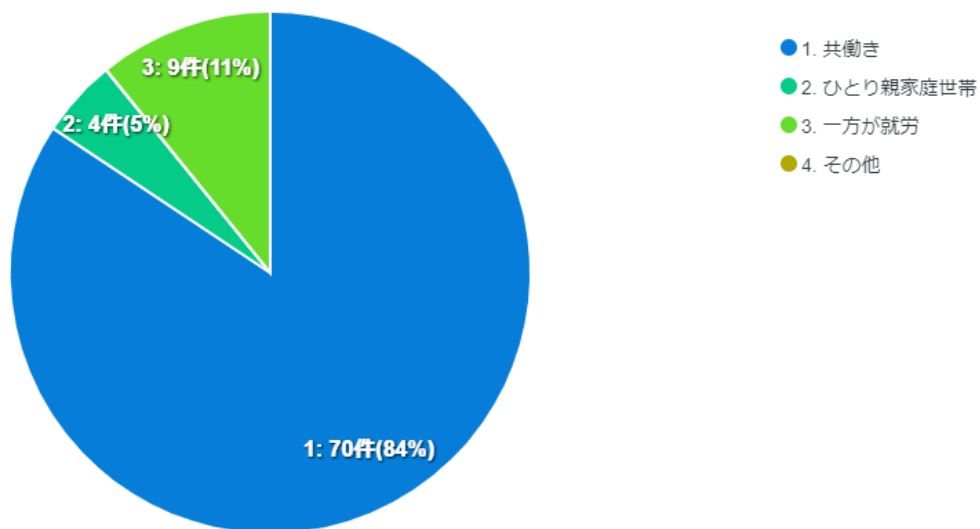
問Ⅰ 現在利用している施設について



問2 お子さんの年齢について(きょうだいがいる場合は全て)

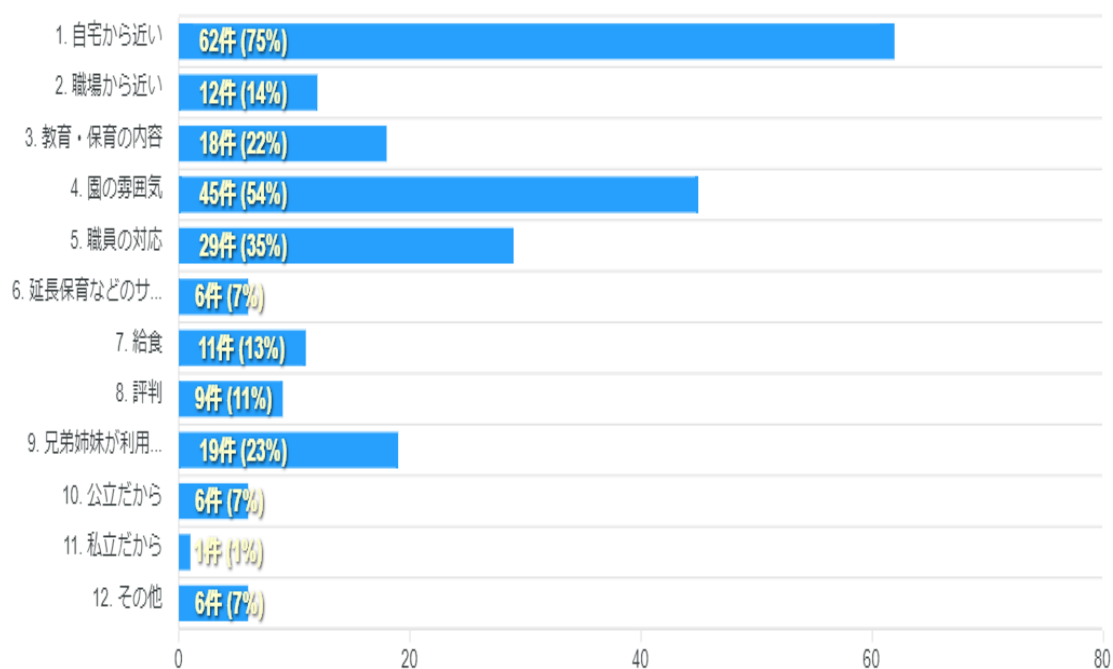


問3 保護者の就労状況について



Ⅱ 施設選択について

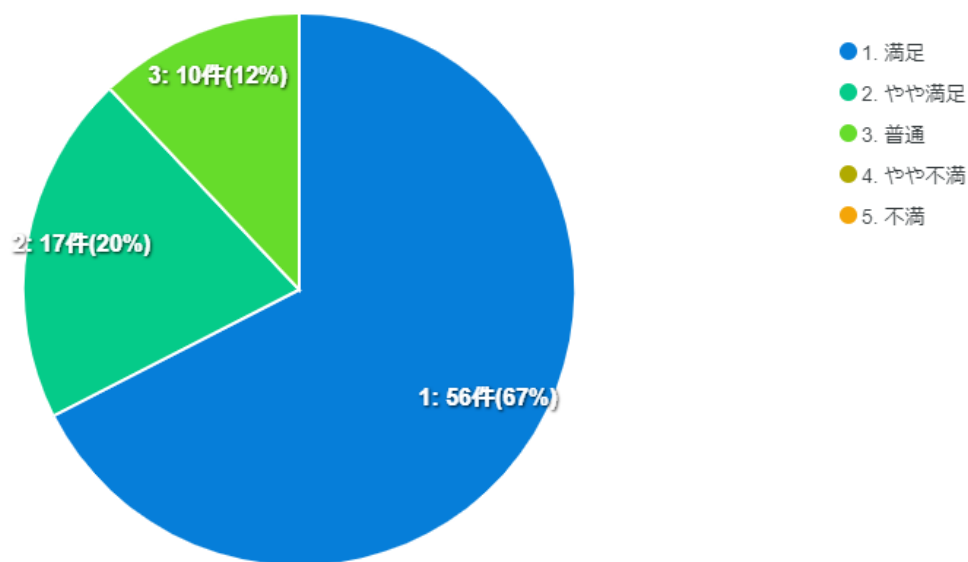
問4 現在の施設を選んだ理由（あてはまるもの全て）



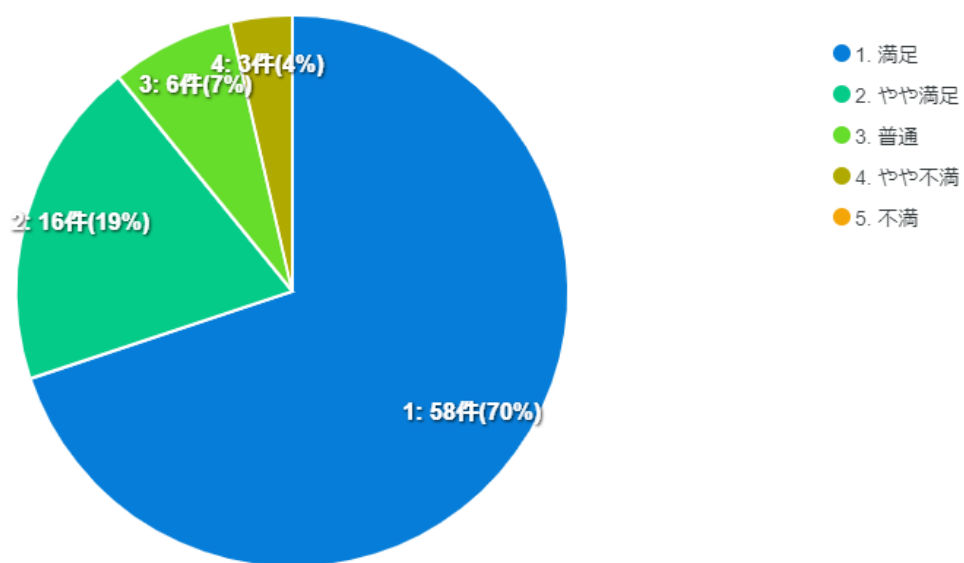
Ⅲ 現在利用している施設について

問5 現在の施設への満足度

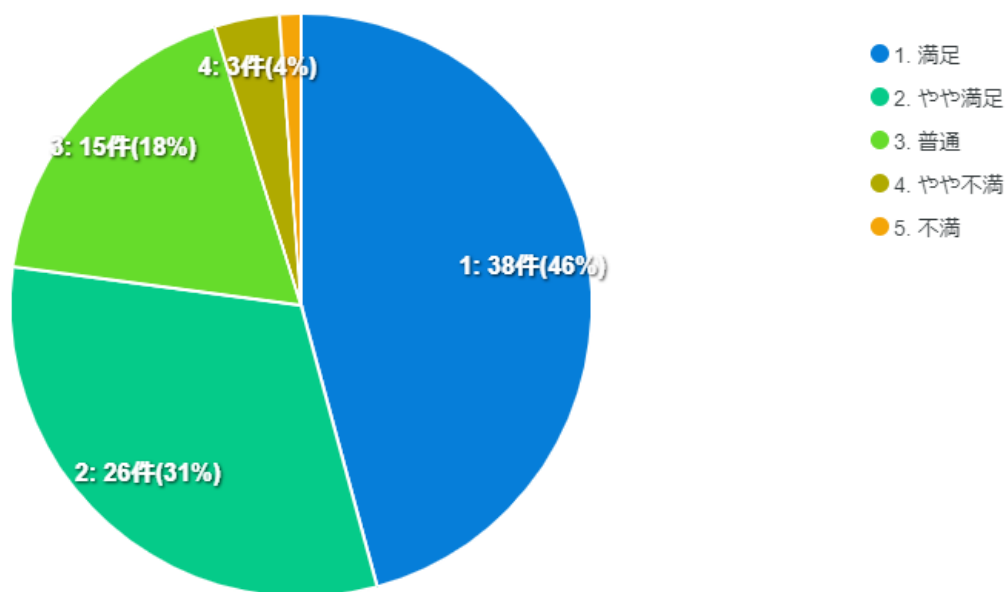
① 教育・保育内容



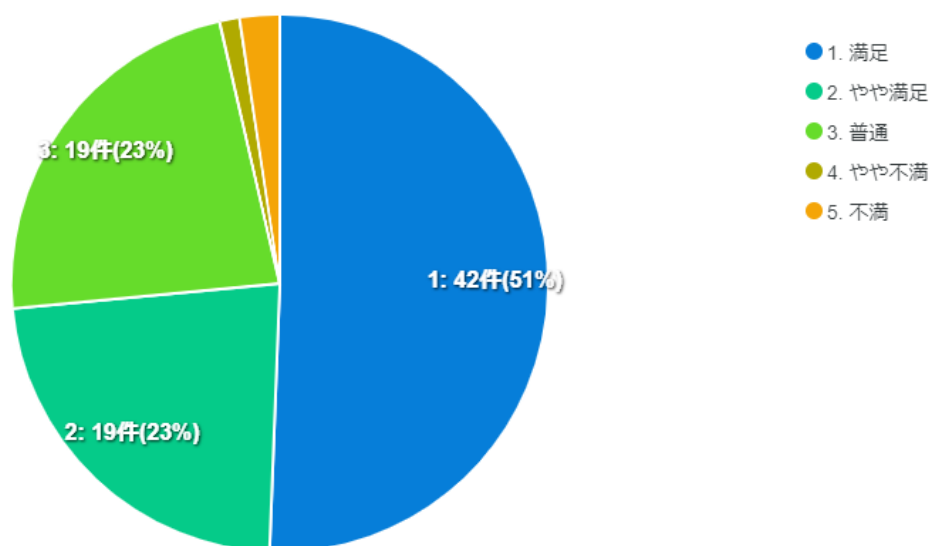
②職員の対応



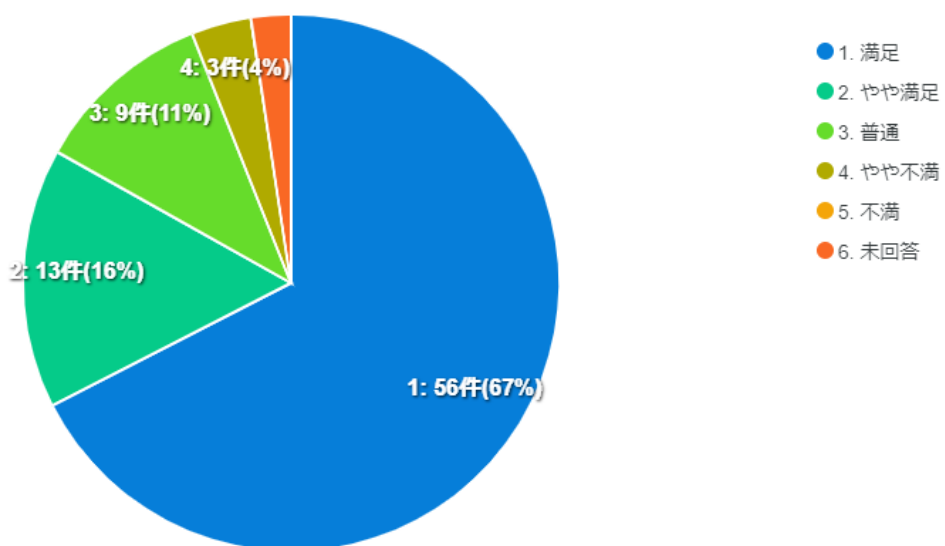
③施設・設備



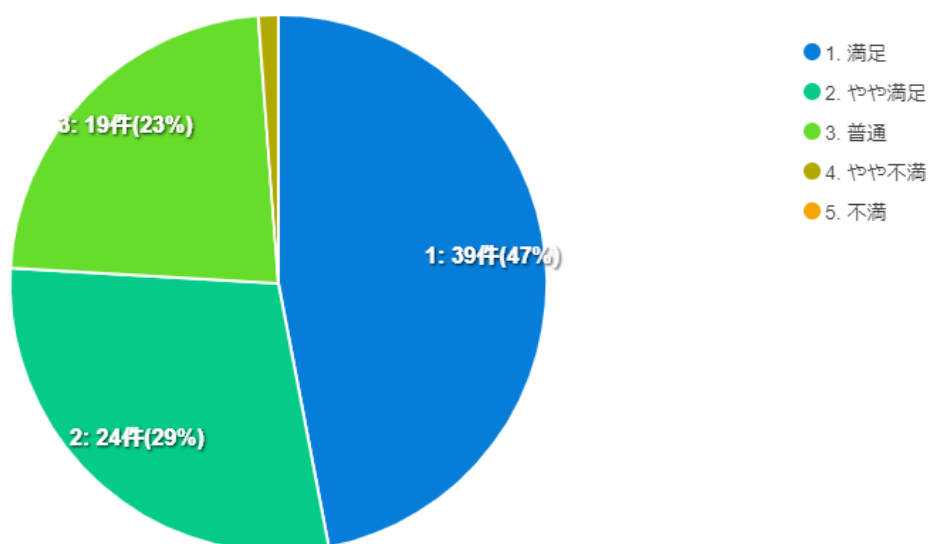
④安全対策



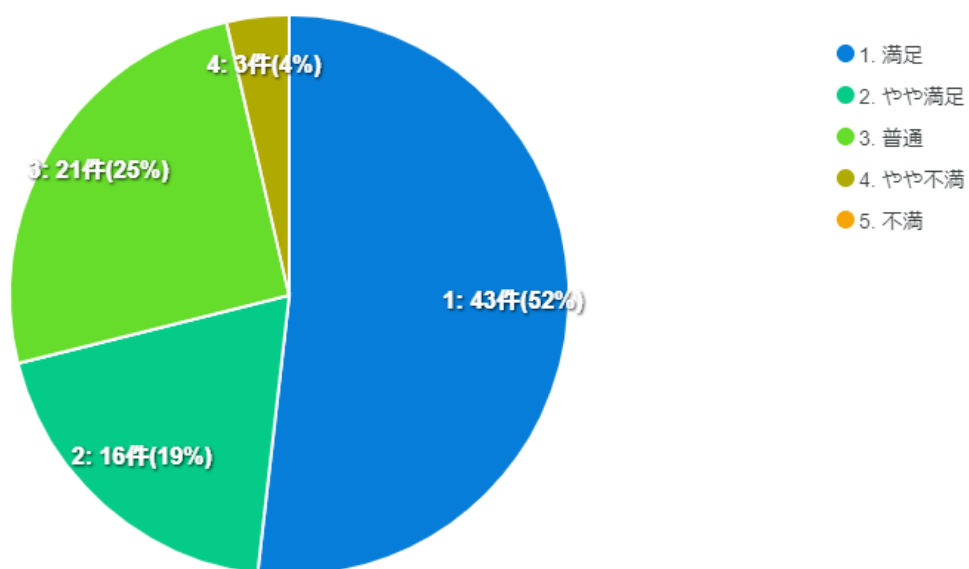
⑤給食



⑥保護者のとの連携

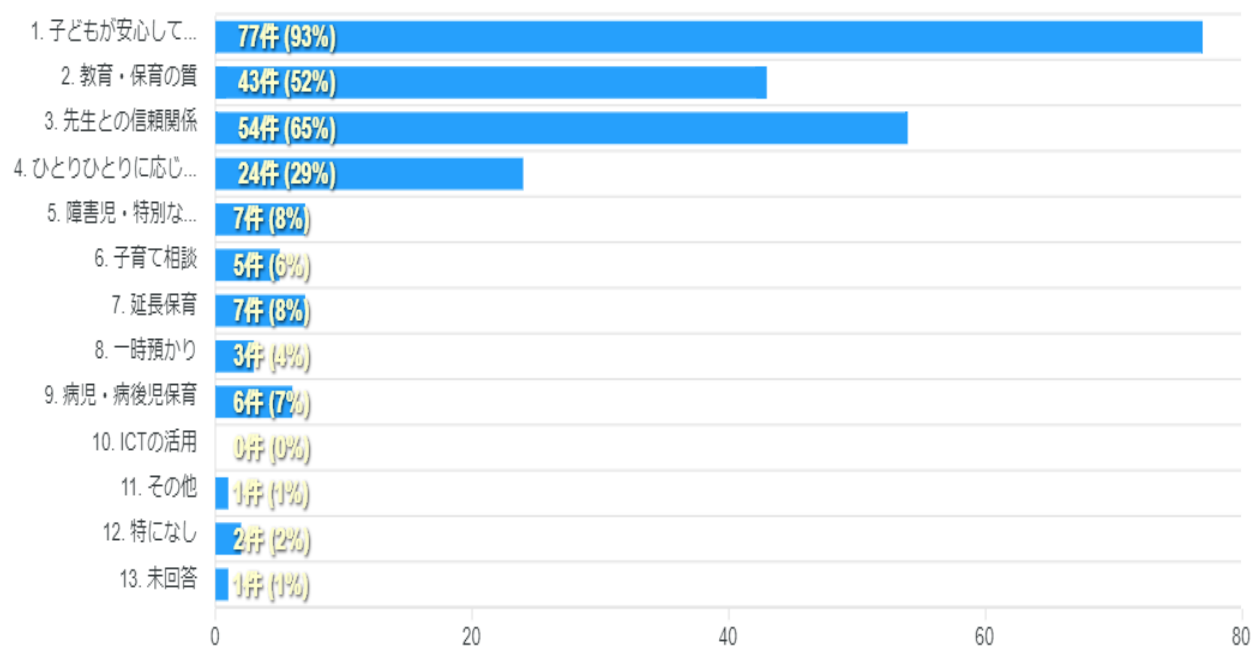


⑦子育て相談



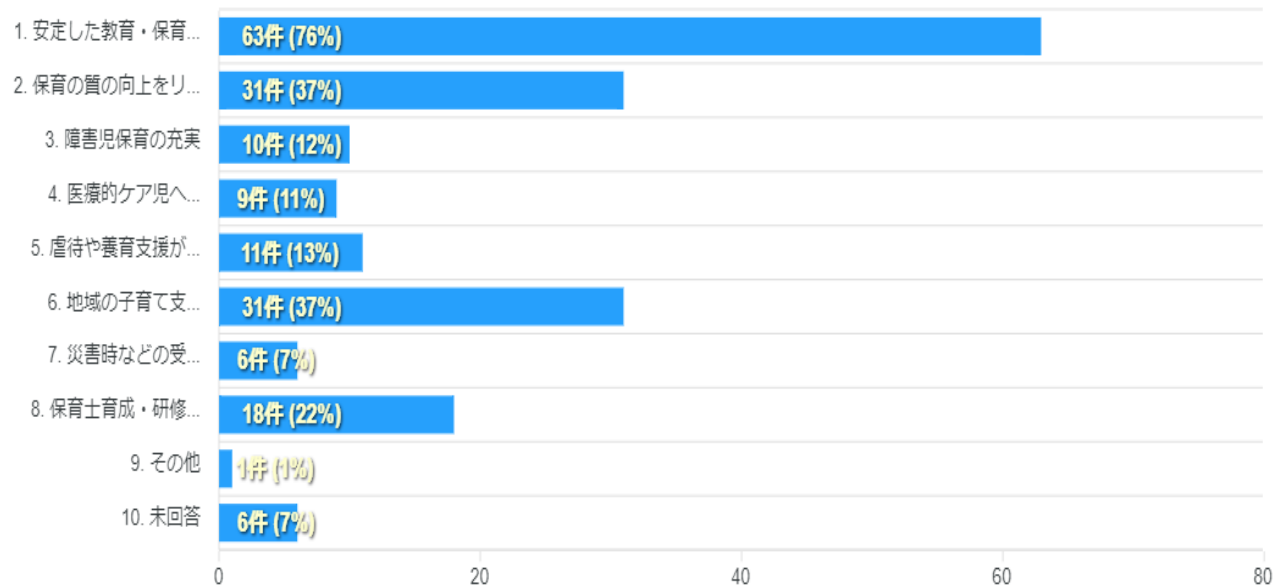
IV 教育・保育に求めること

問6 施設に特に期待すること(3つまで)

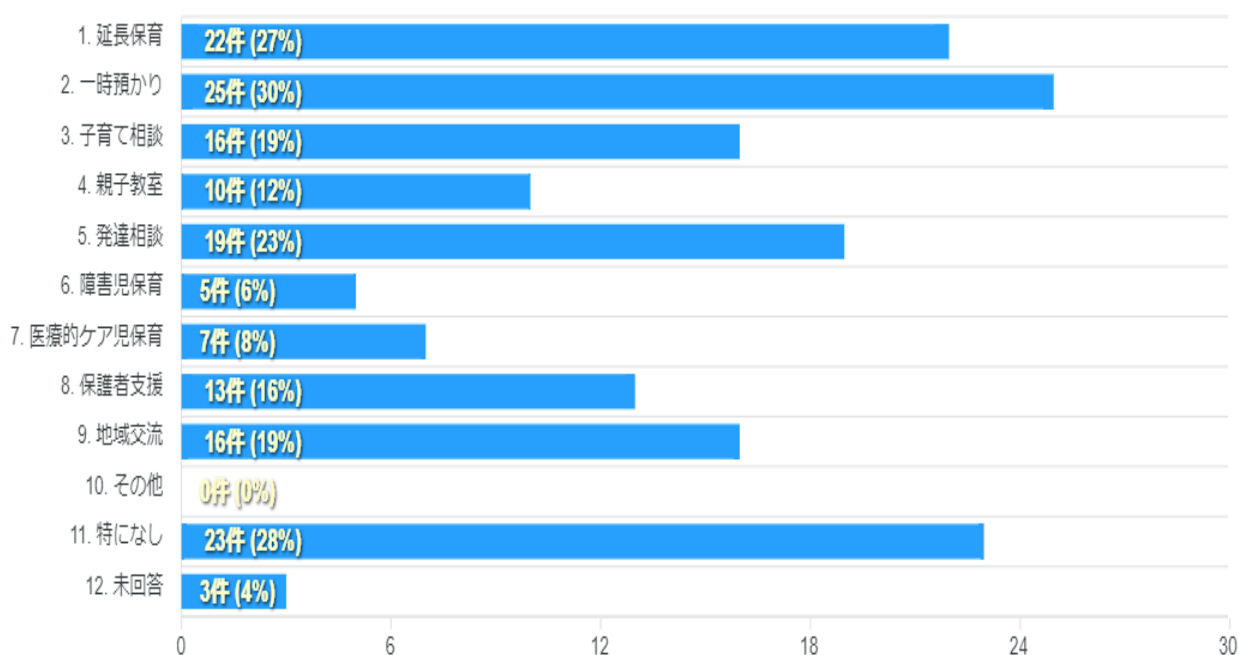


V 公立認定こども園について

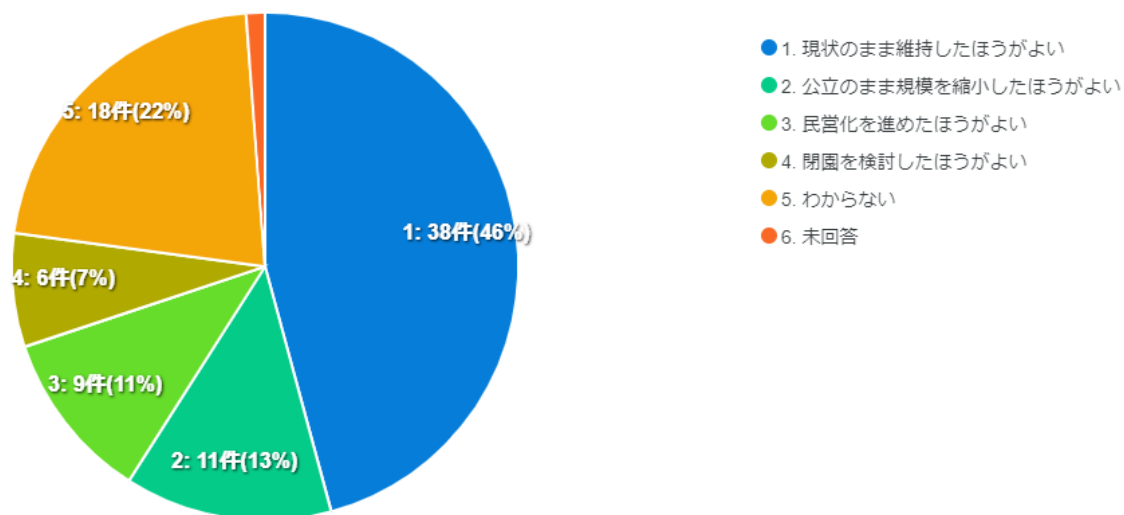
問7 公立認定こども園に期待する役割(3つまで)



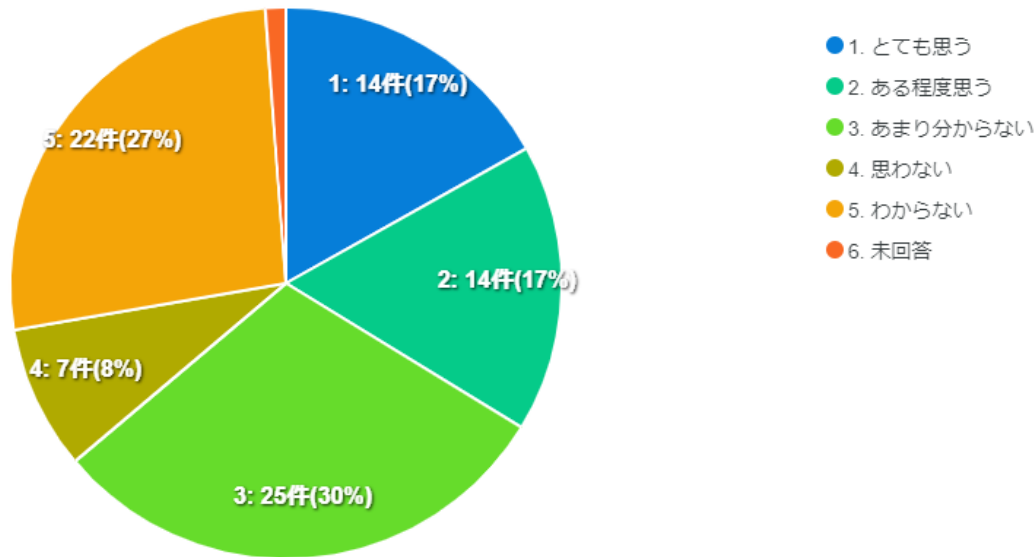
問8 今後、公立施設で充実してほしいもの(3つまで)



問9 公立認定こども園のあり方について、どのように考えますか



問10 公立施設だからこそ担う役割があると思いますか



問11 その理由（問10を選んだ）をご記入ください。

- ・子どもの数は減っているかもしれませんが、国や県、市町村の少子化への政策も広がり、その結果が少なからず出てくるのかなど考える所もあり、現状我が家が困っていないので実際の所実感がないのが本音です。
- ・公立施設をよくわかってない
- ・公立認定こども園は通わせたいと思える魅力がなかったので、候補になかった。
- ・経済的な事情に関わらず、一定水準以上の教育や保育を等しく受けられる環境があるのとならないのでは大きく違うと思うから。
- ・私立の保育施設に預けているので、公立の保育施設ならではの役割について分からない。子どもが減っていて、私立の保育施設が4園あるのならば、公立で運営せずに私立に振り分ければ良いと思う。
- ・私立のこども園にしか子供を通わせたことがないので、公立の園と比較できないため。
- ・認定こども園である以上、公立も私立もあまり変わらないのではないかと思います。また、子供の数が減っている現状で町の財政負担がかかり過ぎていると思う。
- ・待機児童がいる状況ではない町の状況を鑑みると、私立施設で受け入れ枠が十分にあるならば、公立を保持する事が必須ではないとも考えられるため。
- ・各種法律に準拠した対応が必要で、かつ住民側からの指導・監督が法的に行いやすいから
- ・みんな平等にというイメージだから
- ・市貝町は出生数に対して幼稚園、保育園の数が多く、私立の園が大半を占めている形です。資料を見ても公立の市塙認定こども園は充足率が50%にも達していない状況であり、地域から選ばれる園、公立だから担う役割があるとは言い難いのではないかと感じます。
- ・自身が公立私立での違いに重きを置いていないため
- ・公立でなくても地域の繋がりは作れると思う。
- ・公立のこども園がどのようなものかよく分かっていませんが、数字を見て定員割れがすごいので人気がないのかと感じました。今後の少子化でますますそうなるのではないかと思います。
- ・誰もが安心して利用できる施設。支援が必要な子どもや家庭を含め、すべての子どもが利用できる場が必要。
- ・私立では、入園者をある程度選定されそう。様々な家庭の状況、こどもの状況がある中で公立はセーフティネットの役割があると思う。
- ・あって、安全安心な保育、子どもたちがのびのびと健やかに育ってくればそれでいいので、公立だから、私立だ

から役割がどうかと思ったことはない。

・公立の保育園は必要です。こども園はとても雰囲気が良く仕事の経路的にもとても通いやすくありがたいです。他の地域で受け入れが難しい所があると思いますが市貝町は子供が少ないのでそういった点でも救いの受け皿になっているのではないのでしょうか。

・公立だから特に質が高いということはない。

・民営にするとどうしても営利の話になる。そういったお金の話を抜きにして教育に対してのみ全力を注げる環境を作るべきだと思う。

・私立であっても3歳以上は保育料が無料になるので特に公立である理由がないから

・障がい児や医療的ケア児など、私立こども園で受け入れが難しい子ども達の受け入れ先。

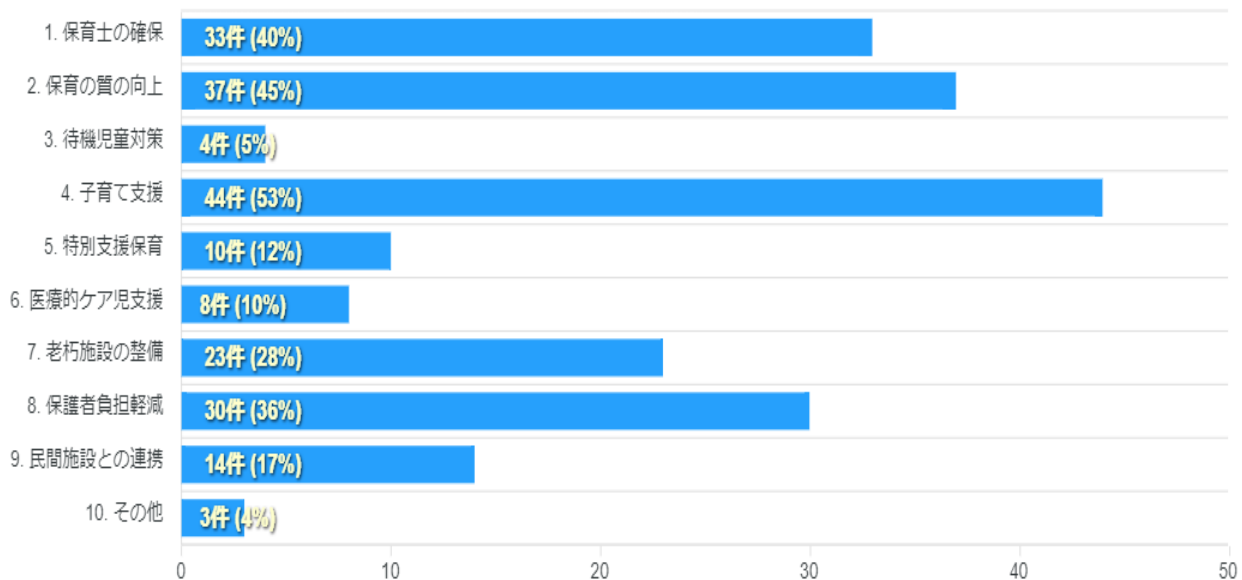
公立なので物品の購入が少なく、経済的に困難な家庭への手助けになる。

・公立だからこそ、町との連携による、子育て支援などができのではないかと思うが、必ずしも公立である必要はない。

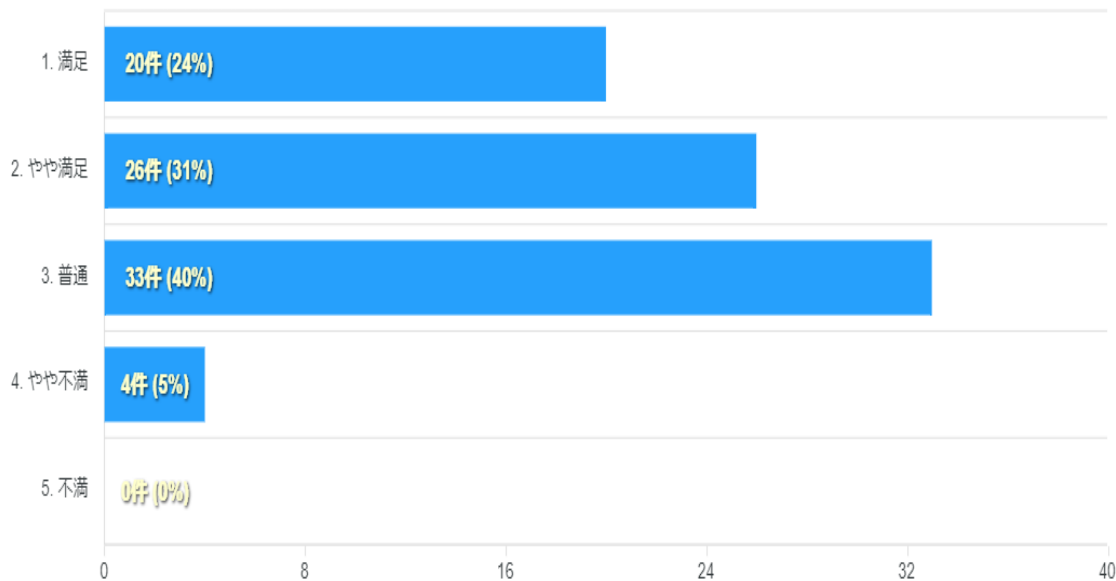
・私立は各園の特色を伸ばし、公立は一定基準の目安を示すことで、ある程度の基礎はどのこども園に預けても出来るようになることを期待する。同様に保育者、職員も公立施設での研修期間を設け、各園に取り入れて欲しい。

VI 今後の保育行政について

問12 今後、町が特に力を入れるべきこと(3つまで)



問13 町全体の教育・保育環境に満足していますか



VII 自由意見

問14 現在利用している施設の 良い点があればご記入ください。

- ・先生達が子供や保護者に対して、いつも明るく接してくれている。時に厳しくしてくれている所がよい。
- ・施設が建て替えられてから新しく防犯対策もしっかりしている所
- ・細かいことまで保育者と保護者の間で報連相がしっかりなされている。施設が常に綺麗に保たれている。保育者の質がかなり良い。
- ・先生たちが子どもに対しても保護者に対しても明るく優しい。
- ・先生が親身になって子供について話を聞いてくれる。行事についても色々と考えて保護者と楽しく関われる内容にしている
- ・先生方が親切、安心して預けられる。
- ・土曜日の利用もできて助かる。
- ・先生方もとても親切で、一人一人に寄り添って頂き満足しています。また、給食も手作りで栄養価の高い物を提供して頂き安心しています。
- ・規模があまり大きくはないので、一人ひとりに目が行き届いていると感じること。また、施設自体は年季が入っているが、補修しながら綺麗に保たれており、何より自然あふれる園庭をはじめ、ゆとりある保育環境が良いと感じている。
- ・職員のレベルが高い
- ・制服がないところ
- ・私立ということで、選ばれる園であるために園長先生をはじめとする先生方が皆熱心に子供に関わってくれています。そのため子どもも毎日楽しく登園できています。
- ・子供のことも保護者のことも考えてくれている。
- ・子育て支援センターがあり、入園前から雰囲気がわかる所
- ・広くて子どもが伸び伸びと遊ぶことが出来る所。
- ・活気があり先生も子供たちも元気！
- ・上の子の時から利用しているので見知った先生たちがいてくれて安心。

- ・職員が気さくで話しやすい。
 - ・全体的に雰囲気と環境が良い。親子参加イベントもほどほどで予定も無理なく立てられて良い。
 - ・親も参加できるイベントがたくさんで良い。園での普段の様子もよく動画を配信してくれるので助かります。
 - ・気になることがあれば相談しやすい雰囲気づくりをしてくださり、検討も早いこと
 - ・子供の連絡事項などが各先生たちにしっかり行き届いてるのでいいと思う。
 - ・人数が少ない分しっかり子供を見てもらえる。どの先生も優しい。
 - ・以前他地域の施設で保育士が園児をいじめるような行為をしており、それを周囲が止めていなかったことからそのような体質の施設なのではないか。といったニュースを見かけ、子供を預けるのが不安な時期がありました。自分で自分を守ることが出来ない子供にそのような辛い目に合わせるなど絶対にあってはならないと思いました。それに比べ、かみね認定こども園の職員の皆様はとても素晴らしくいつも笑顔で対応していただいています。うちの子供は毎日楽しく過ごすことが出来ており、夜はご機嫌でぐっすり眠る日々を送っています。
 - ・良い施設に巡り会えて大変幸運なことだと感じています。
 - ・先生方がよく子どもたちを見てくれていること、保護者ともよりよい関係を築いてくださっていること
 - ・園長先生が変わりイベントなどではちゃんと順位に対して評価する点がよいと思った。
 - ・中規模だからなのか、先生方が子供達全体へ目が届いている点
 - ・先生方が明るい。行事の多さ。上の学年の子と下の学年の子の交流が多く子供たちが下の子たちに優しく接してくれている。
 - ・先生方の対応が素晴らしく、いつも笑顔で接して下さる。行事やイベントが充実しており、子供との思い出がたくさん作れる。定期的な動画配信などで子供の様子が知れるのでありがたい。
 - ・子どもを外でたくさん遊ばせていただけるところ。夏は毎日のように水遊びがあるので、子どもが喜んでいる。家では嫌がる食材も、給食では食べられるよう指導していただけるところ。発達面での心配の相談に乗っていただけるところ。
 - ・小規模園なので 1 人ひとりに手厚く先生方もていねいに接して下さっている。
 - ・アットホームで一人一人をよく見てくれる。こちらの要望も聞いてくれ、連携が取れるのが大変助かる
 - ・先生たちとの距離感がちょうどいいです。近すぎず、遠すぎず。
- 施設が可愛くて綺麗なので、親も恐らく子供も過ごしやすいとおもいます。改装は資金も時間もかかるかと思いますが、綺麗に維持できるようにしていけるといいなあと思います。
- ・子供ひとりひとりを理解し、その子に合った対応をしてくれる。子育てに悩んでいると気軽に相談に乗ってくれて、いい案を出してくれて助かった。
 - ・園児が多いので、集団生活への適応に期待している。また、行事も多いのでこどもの成長を感じる機会も多い。
 - ・施設が新しく、キレイ。コドモンは便利。保護者へのアンケートなどから意見を取り入れてくれる。
 - ・一人一人よく見ていてくれて、その子のいいところを伸ばしてくれる。
 - ・子供たちが成長できる、楽しめるようにとたくさん工夫をしてくれる。
 - ・相談しやすい雰囲気、先生方になんでも話せる。
 - ・保護者の負担が軽減されるよう配慮してくれている。
 - ・子供が「今日も楽しかった」と言っていること
 - ・施設の建物は古い、広い園庭、修繕工事など必要なことを行い、安全な環境を整えている。子どものことをしっかりわかってきている。
- 保護者の意見にも親身に耳を傾けている。
- 教育理念に沿った、楽しい保育をしてくれている。

問15 公立認定こども園や町の教育・保育について、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

- ・私立より公立の保育者の質が悪いと聞いたことがある。
- ・土曜日でも仕事の時に園を利用するうちの子だけのことがある。有難いが先生方が 1 人のために出勤するので負担になっていないか心配。兄弟は学童へ預けているので、他の園や学童と合同して預けられるシステムがあると助かる。
- ・子どもの人数は少なくなっているが、特別な支援が必要な子が多くなっているイメージがある。年配の先生も含め、もう少し特性がある子に対しての知識を持つ先生を増やした方がいいのではないかと思います。
- ・私立が多すぎる気がする。条例で施設の数そのものを抑制し、建替や統合を進められるように設備投資への補助を積極的に行うべき。

保育士が余ればその分手厚い保育が可能となるのだから、それも一つの強みになる。

現状足りているという話ではなく、倍配置してはならないという法律は無いから、消滅可能性自治体であることを逆に利用するのもよいだろう。

今はある程度子供に資金をかける家庭しか子供を作らないから、例えば IoT をフル活用して置き去りなどを防ぐシステムの導入や犯罪者対策による警備員の常駐などに補助を出すのもいいかもしれない。安全に代えられない部分に金を使う保護者は多いと思う。

・市埴認定こども園は園児が 37 名しか居ないにも関わらず、一億円以上の人件費がかかっている状況です。町の財政が豊かではないことから閉園をすることでコスト削減をし、その浮いたお金で茂木町のように副食費を無償化するといった取り組みを行った方が若い世代の負担軽減につながると思います。

・教育は各々親が考えるべき点で町はこれ以上しなくていいのでは?と思う

考えた上で・公立・私立・保育園・こども園・幼稚園を選択し、他に習い事をしてるので今のままでいいと思う

・縮小や閉園することで他の園へ町からの援助や支援がより充実するのならしたほうがいいのではないかと思います

・町に1つは公立の園があった方が良く思う

・アプリが変わってから日々の様子が以前よりわからなくなった。

・人数もそんなに多くないので、しっかり先生たちがみてくれて満足している。

こども園が減ると待機児童が増えてしまうので、園は減らさないでほしい。

・公立認定こども園での保育士間のルールが統一されていなくて困ったことが多々あった。

仕事は休みだけど、自分の通院や用事などで預けた際、「今日はお仕事お休みなんですね!じゃ、(お給食食べ終わったら)(お昼寝明けに)(病院終わったら)お迎え来てください」って言われてすごく困った。

保育士が勝手に「ママ〇時にくるよ!!」と子供に伝えてしまい、子供も信じてしまい後に引けなくなってしまい大変でした。

他のお母さんが毎週決まった曜日に休みで 9 時~16 時まで預けていて何も言われたことないと言っていて、私が 9 時~16 時の間利用しようとしていても言われた。

1 部の保育士だが人を選んでお迎えを指定してくるのはおかしいのではと思う。

確かに子供との時間を大切に考える考えも分かるが、用事や家の事を全て終わらせて心ゆったり余裕をもって保育園にお迎え行く事で毎日の忙しい時間を軽減させ、益々余裕をもって子供と触れ合える事のが大切だと思う。

昔からだが、公立認定こども園は保育士の数が幼児に対して多く感じ、いつも保育士同士お喋りしているなど思う。

・うちは幸い待機児童にならず共働きをすることが出来ていますが、他市に住む妹は中々入園させることが出来ず苦労していました。

・これだけ子どもが減少していて、小学校への入学児童数が少ないことがわかっているのにも関わらず、現在の小学校統合までの計画工程が悠長すぎる。現在の 1 歳児(たった 27 人)が入学するまでに統合しないのはなぜか?

・どこかの市区町村の右に習えではなく、頭抜けた施策を実施すべき。

保育士の確保のための賃金、働き方の質向上を実施し保育士の応募倍率が高くなるようすべき。人材が集まれば自ずと市貝町を選ぶ人が増えすべてにおいて相乗効果が生まれると考えます。

・現在通っている幼稚園に小学生の放課後通う学童があるとありがたいなと思います。夏休みなど長期休暇中、兄弟間での送迎の場所が異なるので割と大変なので同じ場所に預けることができると嬉しいです。

・公立保育所は定員削減で存続させた方がよいと思います。

・以前公立を利用していたが、保育要領にのっとったトイレトレーニングは必要なのではと思っていた。現在はされているかもしれないが、以前はちょっとモヤモヤすることがあった。

・保育園、幼稚園管轄が違うのはわかるが、保育に差がなくなってくると小学校に入学した時の差を感じないで済む。

・近いという理由で今の所に入園していますが こんな保育施設に入れたかった！

と思わせるような施設作りをそれぞれ頑張ってもらえたらなと思います。

今の施設には不満はあまりありません。

・送迎の際に、自動ドアのロックをあけてもらうのですが、保護者が荷物整理をして退園するまでドア開いています。穏やかな街なので大丈夫かと思いますが、いつ何が起こるかかわからないので、もし不審者などが来たら簡単に入れるな〜と不安です。もう少し何か対策してほしいです。簡易的な鈴？が鳴るとかでもいいと思うので。

・保育料が無償化されたとは言え、給食費や施設費などで結局はそれなりに負担感がある。小さな自治体にしか出来ないような独自の負担軽減策を期待したい。

・町唯一の公立保育園は施設も古くなってきて、子育て支援センターで利用させてもらった時も、冬のホールがとても寒く、子どもたちが心配になりました。

1歳から私立のこども園に通わせているが、そちらは民営化時に施設も新しくなったため、環境は整っていると思います。

ただ、こども園に入る前は、市塙の支援センターのイベント時などは利用させてもらっていたが、それ以外は益子町の施設(やわらぎ保育園やましっこハウス)を利用することが多く、0〜2 歳児も保育料金無料で、益子町がとても羨ましく思っていました。

未就学児と親への支援は、公立施設として強化していただけたらと思います。

(もしくは私立施設でも、町との連携、町からの支援で進めてほしいです)

・アンケートの趣旨が曖昧ですが、少子化のため今後は公立に絞ってやっていきたいということへのアンケートなのでしょう？

設問の後半で公立こども園の在り方や、充実して欲しい事と聞かれても、公立に通っていないのでわからない。

ただ、Q7 の災害時拠点の整備は進めていただきたいと思う。避難先での乳幼児特有の不便を保育施設なら解消できる設備がすでに整っていると思う。子供用トイレや、使用済みオムツの一時保管、粉ミルクの備蓄など。他には近隣の行政と連携して保育士の派遣など。避難所生活が長くなれば親もストレスが溜まったり、自宅の片付けで子供を見られないときなどに避難所で保育士の方に見てもらえれば助かります。

今後の町の教育・保育については、人手不足だと思うので人材確保と人材教育、魅力ある職場環境づくりに力を入れて欲しい。ニュースなどで保育施設の事件を見ていると、人手不足による多忙でのストレスや、人員の入れ替えが行われないことでのチェック体制不足などが原因と言われているものが多いと思う。心身ともに余裕があると働き手にも良い感情が生まれ、それが子供たちにも伝わるのではないのでしょうか。

また、先に書いた災害時の近隣自治体への派遣などを行うとなれば一層の人材確保に力を入れて頂きたいと思います。

・小学校のことですが、架け橋期の教育に力を入れてほしい。

市貝小の1年に娘がいますが、担任の先生の対応に疑問を感じるが多々あります。

4.放課後児童クラブ利用料見直しに係るアンケート調査結果

○アンケート調査の実施方法

1) 調査の対象及び回答状況

市貝町内に住所を有し、町内の学童クラブを利用している児童の保護者
調査対象 211 世帯 回答数 134 世帯 回答率 63.50%

2) 調査の方法及び調査期間

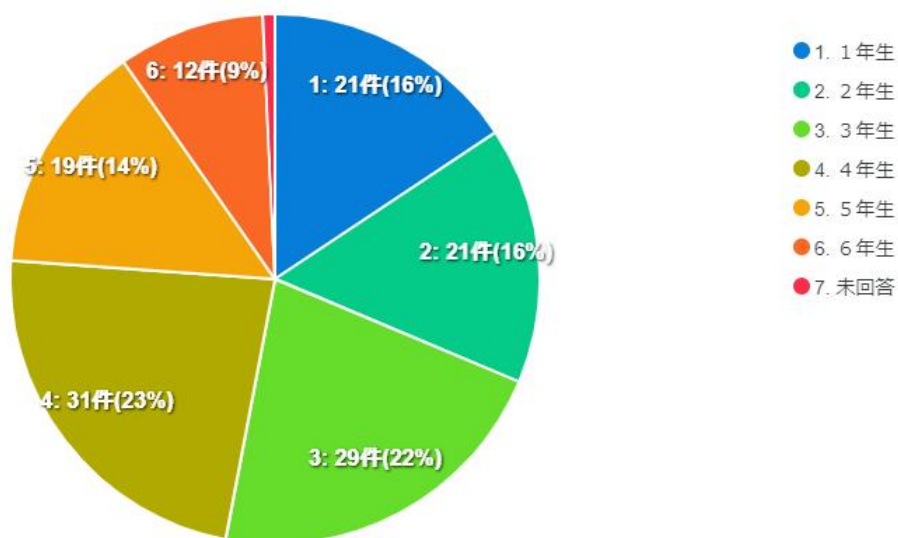
調査方法:オンライン

調査期間:令和 8 年 7 月 10 日～令和 8 年 7 月 24 日

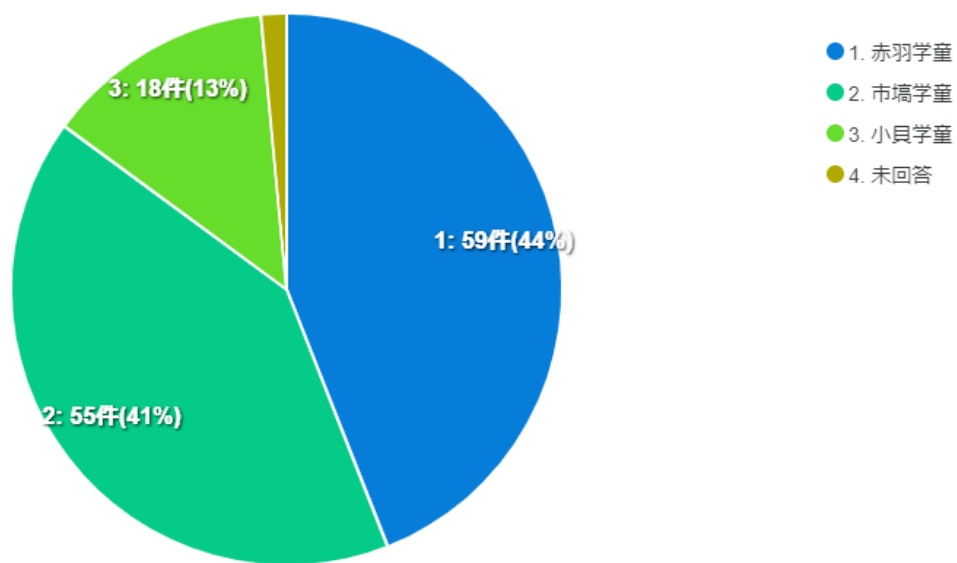
○アンケート調査結果

I 基本情報

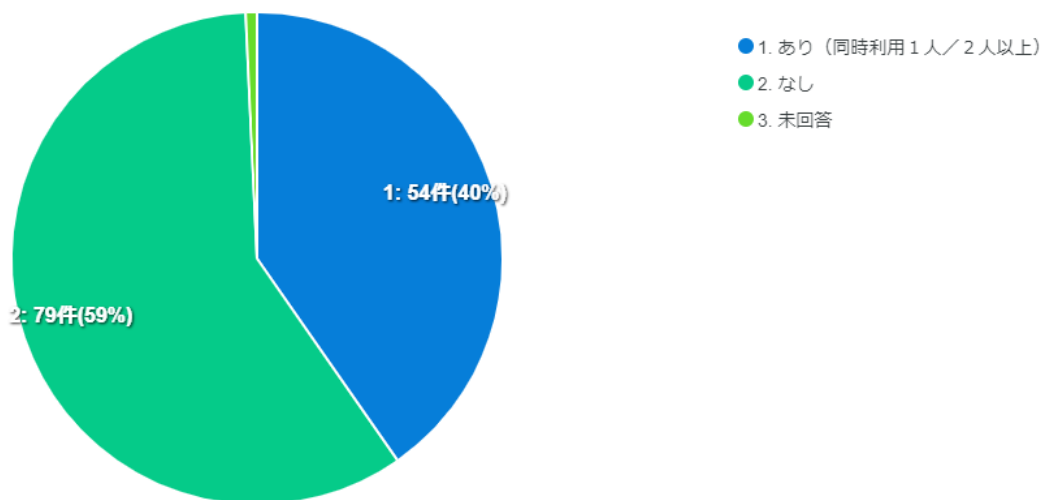
問1 お子さまの学年について



問2 利用している学童について

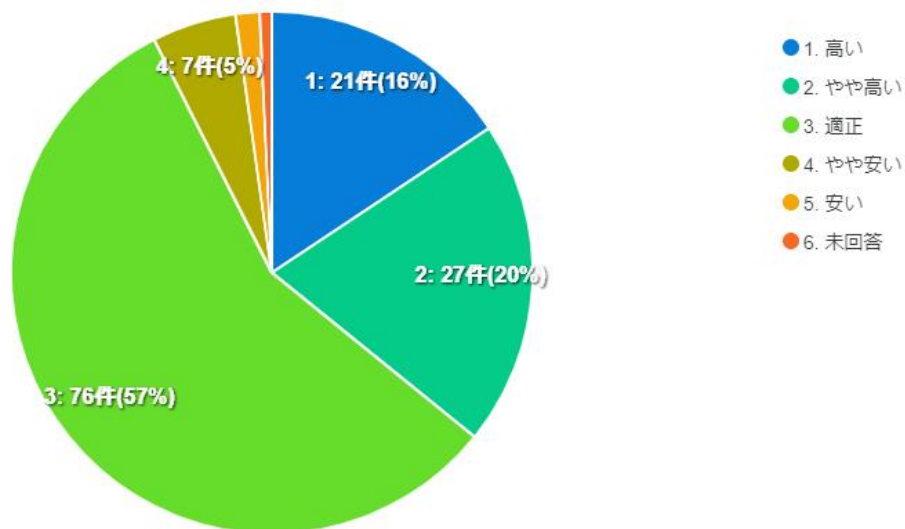


問3 きょうだいの利用

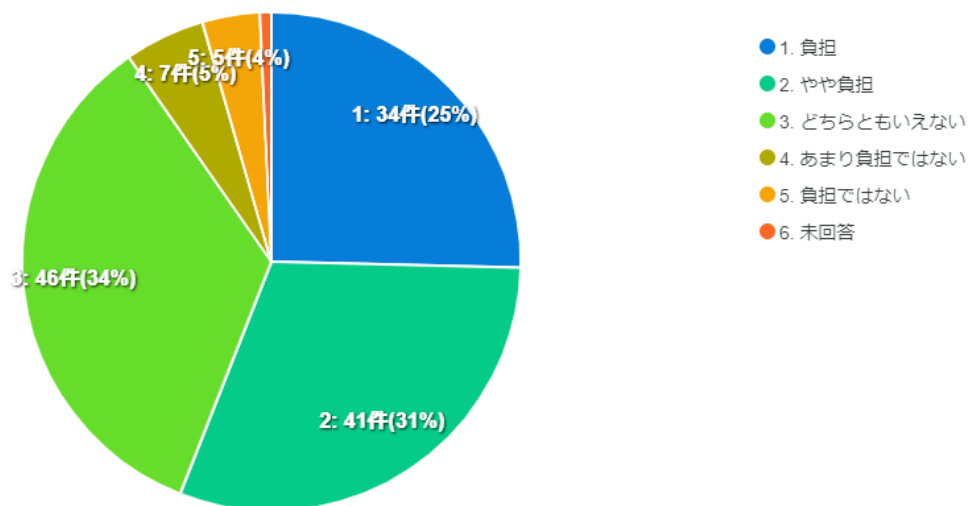


Ⅱ 現在の利用料について

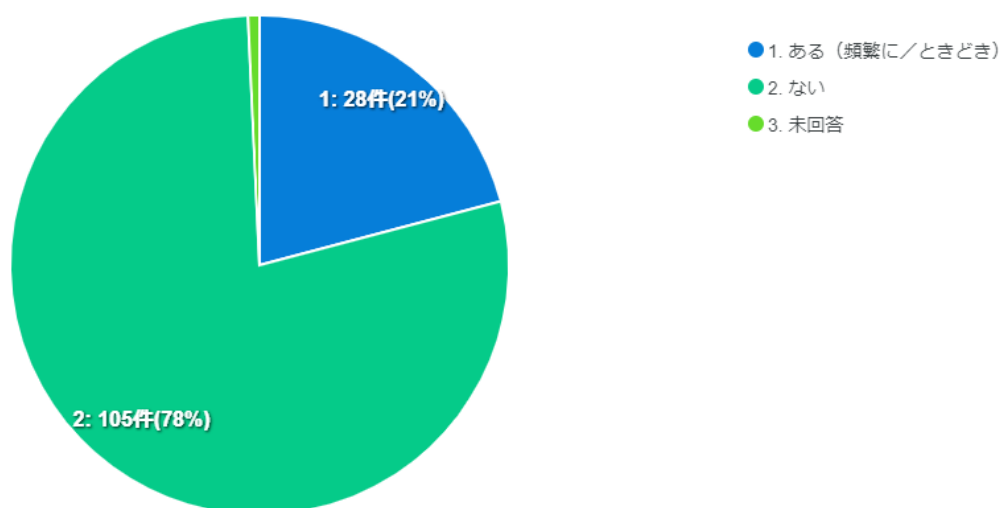
問4 現在の利用料についてどう感じていますか



問5 家計への負担感

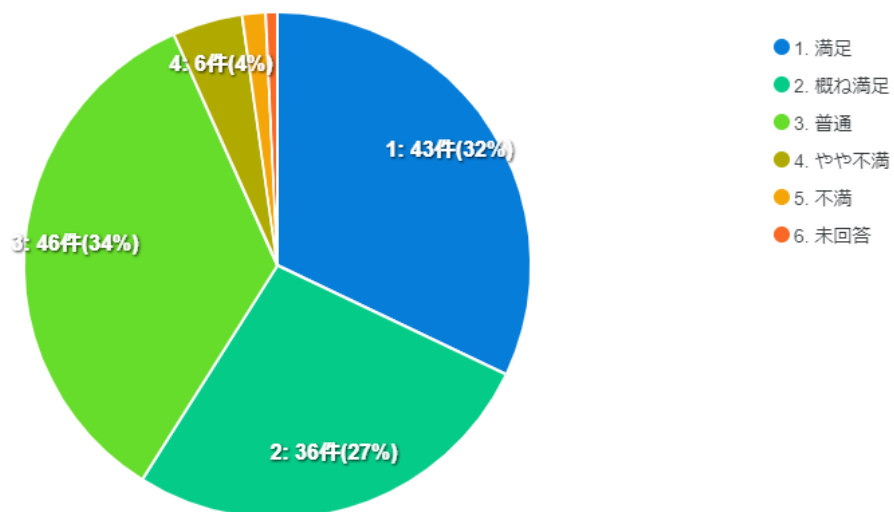


問7 利用料が理由で利用を控えたことがありますか



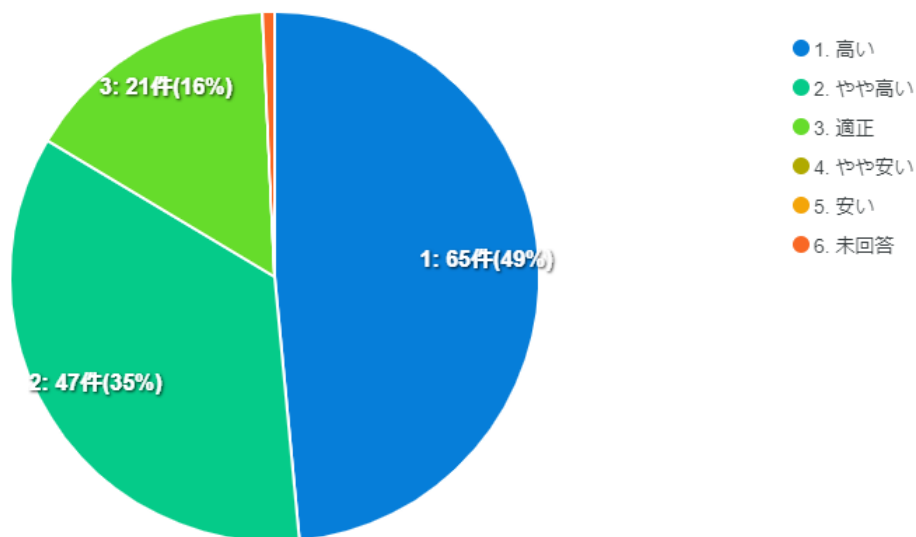
Ⅲ サービスとのバランス

問8 現在のサービス内容への満足度

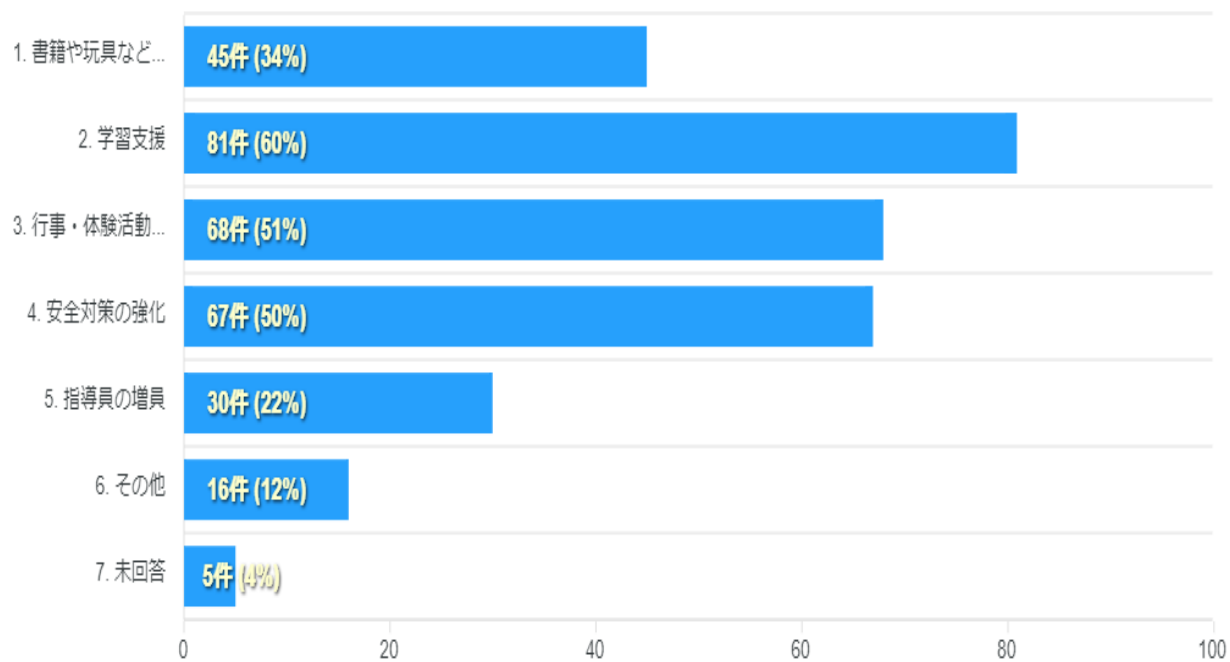


IV 料金改定に対する意向

問9 改定後の利用料案についてどう感じますか

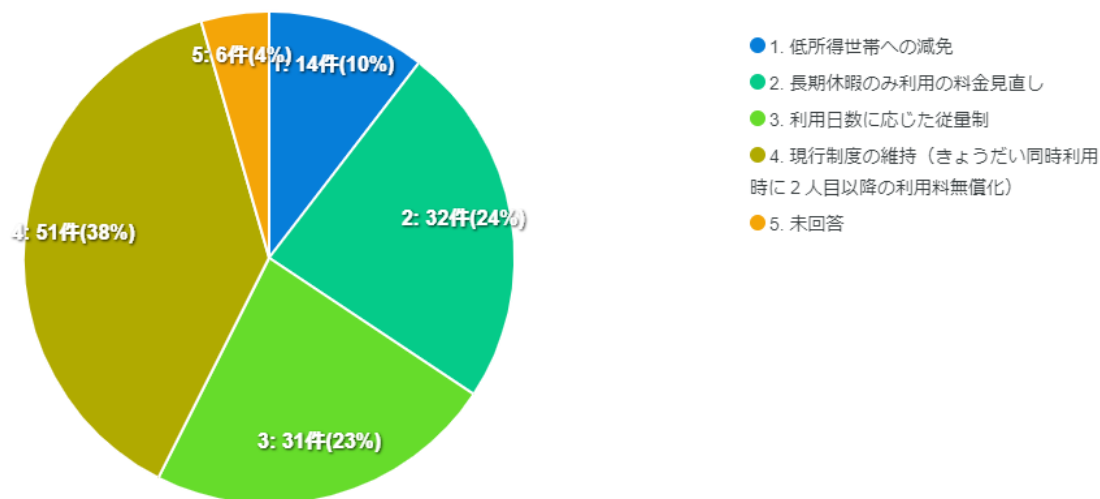


問10 値上げされた場合に充実を希望する点(最大3つ)



V 負担軽減策について

問Ⅰ 費用負担軽減策として希望するもの



VI 自由意見

問Ⅱ 学童保育の料金・サービスについてご意見があれば記入してください。

・子育て支援の充実は、安心して子どもを育て、働き続けられる地域づくりにつながります。保護者の声を十分に踏まえたうえで、慎重なご判断をお願い申し上げます。

・学童保育の値上げについて、保護者として意見を申し上げます。

物価や人件費の上昇により、運営に必要な費用が増えていることは理解しています。しかし、子育て世帯にとって学童は働き続けるために欠かせないサービスであり、利用料の値上げは家計に大きな影響を与えます。

また、急な負担増とならないよう段階的な実施や、所得に応じた負担軽減制度なども検討していただきたいと思っています。

子どもたちが安心して過ごせる環境を維持しながら、保護者も安心して利用できる制度となるよう、ご検討をお願いいたします。

・6年生まで利用したい人が利用できるようにしてほしいです。

学校の給食センターなどを利用してお昼の提供もしてもらえるとありがたい。

・長期連休の時の学童の開始時間

・昨今の物価高を思うと利用料があがるのは致し方ないが、その分スタッフさんの質の向上、施設設備の充実を望む。迎えにいくと部屋が暑いと汗だくだったり、おやつ代が追加になったにもかかわらず、食べているものが質素だったり。最近は迎えにいくとも挨拶もないスタッフさんが多く、こどもを呼んでもくれなかったりが増えた。

・昨年よりも2000円負担増なのにも関わらずおやつ代等で更に来年度、2000円増加は『どうなのか』と思います。まして子供に聞くと昨年同様、おやつは変わらないとも聞きます。それならば金額は据え置きでおやつは無しでも良いのではないのでしょうか。

・6年生も利用できるようにしてほしい

・利用料の負担が増えるのは大変ですが子供の安全を考えると最近の物価高騰もあり仕方ないかと思っています。夏休みなど長期の利用の時にボランティアさんのなど協力を受けられれば書道や工作など希望者を募り行える時間があるといいなと思います。

・お弁当を頼めること自体は大変ありがたく感じています。

ただ、現状では味や内容について美味しくないとお弁当を持参する子どもが多い状況です。

費用をあげるのであれば、子どもたちが喜んで食べられる内容になるよう、改善をご検討いただけますと幸いです。

- ・利用料が高すぎて、就業しても負担が大きい。
- ・金額を上げるならプログラミングやダンスなど、カリキュラム的なものを入れ、レベルアップをさせて欲しい。
- ・おやつが少なく、改善してほしい
- ・おやつ代を 2 人分払っています。しかし、家で夕飯を食べなくなるので、遅い時間に迎えに行くわけではないのでそんなにいらないな、と感じます。
- ・おやつ代がひとり 2000 円徴収されるようになったが以前とおやつの内容が変わっていない
- ・国が示す負担割合の基準と市貝町における現行の負担割合の件は知らなかったので参考になりました。

その分市貝町が育児補助をしてくださっていたんだなと知る事が出来ました。

物価高と人件費の高騰による経費の負担増は理解できますが…家庭も給料が上がらない中生活と支払いで苦労しており、改定案で年間の合計支払い金額考えると大変大きな負担となります。

双方のバランスを考えるならば、各月+1500 円まででの抑えでお願いしたい所です。

Q9のその他の希望は、施設周りの整備費用としてご検討頂きたいです。雨天時後の周辺の水たまり対策や、迎え・帰りの車が交差しない出入り口の整備など。

宜しくお願いいたします。

- ・同時利用時ではなく 2 人目以降の利用料金無償化希望。年齢が離れているきょうだいのため。
- ・なかなか出掛けたりすることが難しいので行事などもおこなってくださっていて助かっています。物価高や人件費を考えると保育料見直しも仕方ないのかなと思っています。もし改定されるのであれば少しでもいいので補助などで負担が減るとありがたいかなとも思います。
- ・毎月 1 万円近くになるのは負担が大きすぎると感じます。
- ・今も学童でおやつ代を払っているのに利用したにも関わらず、迎えが早い為おやつがなしな時があるのはなぜと
思ってしまう。

・夏休み中の預ける時間の拡大(朝 7:00~)、19 時までの延長料金無し

・利用料+おやつ代等で、通常月一万円弱は高いです。習いごと関係で週3利用でも、おやつ代を目一杯取られて
るのには納得がいきません。昨今の物価高で利用料が上がるのは、仕方のないことかもしれませんが、好きでない
おやつを食べない日もあったりするのに同じようにおやつ代等で別途取られるのには納得いきません。

夏休みも2万弱となるのは高くて困ります。

・普段から適正な指導をして頂き感謝しております。運営改善に繋がるのであれば致し方ないかと思います。

・高いかなと感じます。

・これ以上高くなったら働いている意味がなくなってしまいます。

・子どもたちが毎日大変お世話になっており、ありがたいです。

・学校集金も増額、学童も増額、給料は上がらない。国と一緒に子供をどんどん減らしたい計画なのかな？

・母子家庭等の利用料減額

・羽ばたきはすでに、おやつ代を毎月払っている。にもかかわらず、さらにおやつ代等を負担？二重で支払うというこ
と??

今以上に利用料が上がるのであれば、利用しないと言うことも考えないといけない。

子供だけで家にいさせるのは心配だが、検討する

・物価上昇に伴う、運営経費の増加は大変、分かりますが、同時に家計の負担も大きく、改正された場合、学童利用
も控えなくてはいけなくなると思います。

・いつもお世話になっております。大変満足です

・長期休暇時の利用料の負担が大きく、行事(遠足)料金が高く感じ、参加させたいけど迷ってしまう。遠足に変わる、
代替え行事を提案してもらいたいです。

・おやつ代 2 千円は少し高い

・指導員の児童に対する指導の仕方の再教育を望みます。

児童同士のケンカの際、両方の言い分をよく聞かず泣いた者勝ちにされます。

もっと慎重に聞き取りをしてほしいです。

また、思い込みでの説教も多いです。児童の話をきちんと最後まで聞いてほしいです。

・はばたき学童のみおやつ代として 1000 円多く徴収している状況です。物価高の影響で利用料が上がることは仕方ないと思いますが、利用料が上がるのであれば 1000 円プラスで取っているおやつ代は取らず、他の学童と同額にしてほしいです。(遠足等でかかる費用はその都度実費徴収にして)

・物価上昇等で利用料の見直しの必要性も理解できますが、実際収入の増加などはないので、料金見直しも家庭には負担になると思います。

・これだけ高くなると利用したいが、子供を 1 人にしたくないが、利用を控えようか考えてしまう。

・17 時頃にはほとんどの児童が帰宅しているので、おやつ代は少し削れるのではと思います。

・先生達の分からない所で子供達同士のトラブル等があるので指導員さんを増員してほしい。

・いつも子どもたちを預かっていただき、安心して仕事ができているので感謝しております。

先日、迎えに行った際に、違うご家庭のお父さんの迎えと同時にになりました。その時、その方のお子さんが学童に来ていないことがわかりました。

ご家庭の連絡の行き違いだったのか理由はわからなかったし、その方は「そうですか」と帰っていきましたが、その時の先生が、笑いながら「〇〇ちゃん来てないよ」〜と保護者の方に言っていました。親として、迎えに行ったら自分の子どもが来てないと言われたら、正直ゾッとします。理由はどうであれ、その先生の態度がとても気になったので、この場で書かせていただきました。

・ひとり親世帯では学校側では色々免除があり助かっているが学童では無いためなんの意味がない。

・今回の利用料を 5,250 円から 7,500 円へ引き上げるとい大幅な値上げについては、現状のサービス内容を考えると賛成できません。家計への負担が大きく増えるため、今回の見直しには基本的に反対です。

以下に記載する内容は、値上げを容認するという意味ではありません。仮に値上げを実施するのであれば、それに見合う改善を最低限行っていただきたいという要望です。

まず、おやつや夏休みの金曜日に提供される昼食については、子どもの健康や栄養面への配慮をより重視していただきたいです。特に、おやつについては、添加物の多いお菓子やアイスクリーム、ジュースなどをできるだけ控え、果物や手作りのおやつ、素材を生かした食品など、子どもの成長に配慮した質の良いものへ改善していただくことを強く希望します。学童は子どもたちが長時間過ごす生活の場でもあるため、「空腹を満たすもの」ではなく、「健やかな成長を支えるもの」という視点で提供内容を見直していただきたいです。

また、指導員の質の向上も強く希望します。資格の有無だけではなく、子どもの話に耳を傾け、一人ひとりを尊重した関わり方や、発達段階に応じた適切な指導ができるよう、継続的な研修や教育を充実させていただきたいです。子どもからは、「理由を聞かずに頭ごなしに否定された」「大人の価値観だけで判断されてしまった」と感じる出来事を聞くことがあり、学校の先生方の対応と比較すると、残念に感じる場面があります。保護者は、子どもの成長に関わる大切な時間を有料で預けています。そのため、安全に見守るだけではなく、子どもの人格や成長を尊重した関わりができる体制づくりをお願いしたいです。

物価高騰が続いていることは理解しています。しかし、物価の上昇に比例して多くの家庭の収入が増えているわけではありません。共働きをしなければ生活が成り立たない家庭も多い中、このような大幅な利用料の引き上げは非常に厳しく感じます。

学童保育は、子育て世帯を支える重要な事業です。まずは行政による支援の充実や運営の工夫など、保護者負担をできる限り抑える努力を十分に検討していただきたいと思います。

改めて申し上げますが、この意見は値上げに賛成しているものではありません。利用料を大幅に引き上げることに反対です。その上で、もし実施されるのであれば、保護者が納得できるだけのサービス内容や指導体制への改善を強く求めます。